

相続登記の義務化についての勉強会を開催

全国に所有者不明の土地が増えています。空き家となって放置されている家も増えています。

そうした現状を受けて相続登記が義務化されました。手続きをせずに放置しておく、罰金を科される場合があります。相続したくない場合には、国が引き取る制度もあります。

相続登記について分かりやすく解説いたします。

■開催日時 5月14日(火)

午前10時～午前11時

■場所 役場1階101会議室

■講師 一般社団法人住まい管理支援機構事務局長 松下光幸さん(宅地建物取引士)

■申込期限 5月9日(木)

■問い合わせ先

地域包括支援センター

☎(48)1111(内1127・1128)

災害義援金・寄付金にご協力ありがとうございます

役場をはじめ町内7カ所で次の災害義援金・寄付金を募集しました。

令和5年度中に寄せられた義援金の名称と金額は以下の通りです。

▽ウクライナ人道危機救援金 18,724円

▽令和5年5月能登地方地震災害義援金 3,161円

▽2023年トルコ・シリア地震救援金 3,537円

▽令和5年6月30日からの大雨災害義援金 3,270円

▽令和5年台風第6号災害義援金 872円

▽2023年リビア洪水救援金 904円

▽2023年モロッコ地震救援金 898円

▽令和5年台風第13号災害義援金 823円

▽2023年アフガニスタン地震救援金 1,051円

▽令和6年能登半島地震災害義援金 1,018,810円

(3月分の団体寄託 阿久比町水道組合様 10万円)

お寄せいただいた義援金・寄付金は、日本赤十字社愛知県支部へ

シリーズ 消費生活相談①65

もしもの時に慌てないように! 葬儀サービスのトラブル

○ 相談事例

父が亡くなり、家族葬の価格が手頃だと広告をしている葬儀社に見積もりを依頼した。「家族葬約40万円から」という広告だったが、プランナーだという担当者に「お宅はこのプランではできない」と言われ、オプションを追加された。価格表などは担当者の手元にあり、私たちにはよく見えなかった。合計額が300万円近くなり驚いていると、家族葬250万円のセットプランを勧められ、仕方なく契約した。広告とは異なる高額費用になり不満だ。(60歳代)

○ 被害を防ぐアドバイス

- ・広告の価格が手頃なのでその葬儀社に依頼したが、オプションなどを付けられ、結局高額となり納得できないという相談が寄せられています。
- ・葬儀の規模によっては数百万円と高額になるにも関わらず、検討や準備のための時間がありません。そのため事前の情報収集が大切です。事前相談なども利用し、希望するおおまかな内容を決め、依頼する葬儀社を見つけておくとしらべて準備することができます。
- ・広告に表示された料金でサービスを受けられるとは限りません。葬儀社との打ち合わせは複数人で受け、見積書をよく見て、不明な点は確認しましょう。
- ・クーリング・オフができる場合がありますので、困った時は、早めにお住まいの自治体の消費生活センターなどにご相談ください。

◎ 知多半田消費生活センターでは消費生活相談を行っています。

■日にち 月曜日～金曜日(祝日、第4水曜日、年末年始(12月29日～1月4日)除く)

■時間 来所相談：午前9時30分～午前11時 午後1時30分～午後3時30分
電話相談：午前9時30分～午後4時

※ 来所相談の場合もまずは電話で確認をお願いします。

■問い合わせ先 知多半田消費生活センター(クラシティ3階市民交流センター内) ☎(32)2444

届けました。皆さまの温かいご支援ありがとうございました。

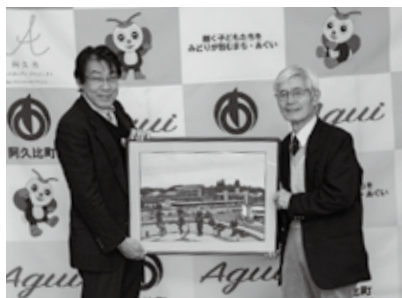
■問い合わせ先

住民福祉課社会福祉係
☎(48)1111(内1122)

ご寄付ありがとうございます

桜井敏彦 様

阿久比町制70周年および新庁舎の落成を記念し、ご自身で制作された切り絵作品「躍翔」をご寄付いただきました。



今月号の表紙

あぐい結びの市「よりみち-yorimichi-」が3月17日にスポーツ村交流センター(アグスポ)駐車場で行われました。会場では、キッチンカーや雑貨、ワークショップなどが出店され、多くの来場者でにぎわいました。休憩スペースでは、知多木綿の飾り付けがはためく心地よい風に包まれながら、地元のグルメを楽しむ方々の笑顔で溢れていました。

編集後記

先日友人から、「もうすぐ1万日誕生日だね」と声を掛けられました。生まれてから1万日、そんな日のことを考えたこともなかった私は、そういった言葉があること自体に驚きました。子どもの頃とは違い、大人になると自分の誕生日すらあっけなく過ぎてしまいますが、誰かに支えられながら「今日」という日を迎えられることはとても幸せなことだなあと感じます。常に感謝を忘れずに、忙しい日々も一日一日を大切に過ごしていきたいものです。